

視聴覚教育

NO.313

発行日

17.6.10

発行

岡崎市AVL

編集

現職教育委員会

学習情報部

視聴覚用語

「フラッシュ」
音声やグラフィックスのアニメーションを組み合わせてコンテンツを作成するソフト。まだ回線速度の遅いインターネット上で、初めて実用に耐えるアニメーションツールとして登場したため、広く普及した。

松下教育研究財団による

研究助成・実践研究委嘱

今年度の松下教育研究財団からの実践研究助成先として2校1団体、実践研究委嘱校として2校が指定を受けた。

第31回実践研究助成校

実践研究助成は、視聴覚・情報通信メディアを効果的に活用し、教育課題の改善に取り組む実践的な研究計画を助成するものである。岡崎市内の助成先と研究テーマは次のとおりである。

常磐南小学校

「力いっぱいできる子の育成
パソコンを核としたメディアの活用を
した授業を通して」

六ツ美北中学校

「ともに学びあい、互いの成長を喜び合える
生徒の育成
視聴覚・情報メディアを生かした
総合的な学習をめざして」
「テレビ会議利用による
異校種間交流の研究」

「子どもニュース(KWN)プロジェクト」

実践研究委嘱校

・藤川小学校 ・美川中学校

このプロジェクトは、ビデオ制作活動を、メディア教育の一つとして広く小・中学校の教育活動に普及することを目的にしている。また、制作活動を通して、子どもたちの豊かな人間性を育成することを期待して行われているものである。国際的な活動で、昨年度は世界15か国、370校以上、約7千人の子供たちが参加した。岡崎市内からは小豆坂小学校、六ツ美北部小学校、竜海中学校、東海中学校の4校がすでに研究委嘱を受け、小豆坂小学校の国際部門賞受賞(日本代表)をはじめ、各部門で成果を収めた。今年度、新たに研究委嘱を受けた藤川小学校と美川中学校2校についても、成果が期待されている。



昨年度の表彰式から(小豆坂小)

「視聴覚あれこれ」

第1回RISOPrint

メディアコンテストの結果

平成16年3月末に募集のあったRISOPrintメディアコンテストの結果、次の方が入賞されました。おめでとうございました。

【最優秀賞】

柵木 弓(小豆坂小学校)

【審査員特別賞】

藤田 宏(矢作東小学校)

【優良賞】

菅沼国雄(学校指導課長)

”

天野孝志(大樹寺小学校)

平成17年度 自作教材テーマ決定

平成17年度の自作教材制作委員会にて今年度の作品テーマが決定しました。ビデオ教材制作班6班、マルチメディア教材制作班1班の7班集体で取材・制作活動を開始します。

【ビデオ教材】

A班 社会・・・矢師

B班 社会・・・繊維の町の誇りを守る

C班 社会・・・ご要望の音に

～日本一小さな太鼓屋のこだわり～

D班 理科・・・花火

E班 理科・・・矢作川の植物

F班 英語・・・Joyful English不定詞

【マルチメディア教材】

G班 社会・・・私たちの安全

～岡崎市の消防署～

実践報告

写真入りの招待状作り

岡崎市立上地小学校 近藤 義孝

3年生国語「しょうたいじょうを書こう」の学習において、子供たちと何の招待状を書くか話し合った結果、授業参観の招待状を家の人に向けて書くことになった。そこでこの機を捉え、子供たちが興味を持ち始めたコンピュータを使ったカード作りに挑戦することとした。

家の人に喜んでもらえるように、招待状には、自分の顔写真を入れることとして、画像加工ソフト（フォトインプレッション）を使った。テキストの入力については、子どもたちのリテラシーを考え、パソコンを使い慣れていない子どもは、文字もキーボードで入力し、慣れていない子どもは、カードの余白に自分の手で文字を書き入れていいことにした。パソコン（デジタル）と、手書き（アナログ）の融合した三年生らしい温かみのある招待状ができた。

「生まれて初めてパソコンでカードを作ったとき嬉しかったよ。」「家の人びびくりするよ。」

子どものうれしそうなつばやきが広がった。授業参観はきっと大盛況であろう。



カード作りの様子

「レットトライ」

愛知「エースネット」の利用

愛知県教育センターが整備を進めている学校教育用ネットワークサービス「愛知エースネット」というサイトがあります。
<http://www.aichi-c.ed.jp/>

このサイトは、県の教育関係のネットワーク拠点として、愛知県教育委員会が設置する愛知県教育情報通信ネットワークのサイトです。ネットワークの教育利用の実践例や県内の学校自慢をはじめ実践例、学習指導に役立つリンク集、研究会情報や教科のページもあります。

中でも、ぜひ参考にしたいページが、「参加・交流の広場」です。県内の子どもたちの作品の紹介や学校の紹介、学習指導に役立つリンク集、また、TV会議システム・電子メールなどを利用したネットワーク交流学習の実践が掲載されています。

現在、ネットワークを活用した交流学習の実践が各地で行われつつありますが、その方法は未だ確立されていないのが現状です。このサイト内の「交流学習Q&A」というコーナーでは、交流学習についての疑問についての解説があり、これから取り組みたいと指導者にとっては、非常に参考になります。

（小豆坂小学習情報主任

大坪 孝子）



ライブブライリーだよ

「第4回全国こども科学映像祭」の募集

子どもたちの科学への関心を喚起することを目的とし、カメラの目を通して科学の楽しさ、素晴らしさを理解させ、子どもたちの「科学する心」を育てようと、財団法人日本科学映像協会が主催するコンクールです。

岡崎市からは、東海中学校が3年連続文部科学大臣賞を受賞するなど、多くの成果を挙げています。奮ってご応募ください。

【テーマ】

小学校部門「みづかな生きもののふしぎ」
中学校部門「科学の不思議を見つめると」

【締切】

平成17年10月31日

【参加資格】

小学生部門は、小学生とその父母や祖父母、教師と一緒に制作をした作品。中学生は、個人またはグループで制作した作品。（教師の指導可）3分以上10分以内の作品とする。詳しくは、ホームページをご覧ください。

<http://kaei-kyo.net>

第49回中学校総合体育大会ビデオ完成！

5月13日（土）に開催された中学校総合体育大会の様子を編集としてビデオにまとめました。県営グラウンドでの入場行進、陸上競技をはじめ、柔道、バレーボール、バスケットボールなどの競技の映像が記録されています。時間は30分です。ダビングを希望される学校はライブブライリーへご連絡下さい。